

特集

見よう、学ぼう、楽しもう♪
人形劇のまち飯田 2023年度イベントカレンダー



Dogushi Vol.41 2023年4月発行 発行「人形劇のまち飯田」運営協議会
制作：NPO法人いいだ人形劇センター TEL:050-3583-3594 FAX:050-3583-3594 E-mail:ida-puppet@misjans.or.jp

掲示板 いいだ人形劇センター からのお知らせ

人形劇の活動を 支援してください

賛助会員募集!

NPO法人いいだ人形劇センターは、当センターの目的と活動にご理解・ご賛同いただき、活動を支援していただく2023年度の賛助会員を募っています。

賛助会員(個人・団体)にお申し込みいただきますと特典として、季刊情報誌『Dogushi』や公演・イベントなどのお知らせを随時配信いたします。皆さまのご支援をお願いいたします。

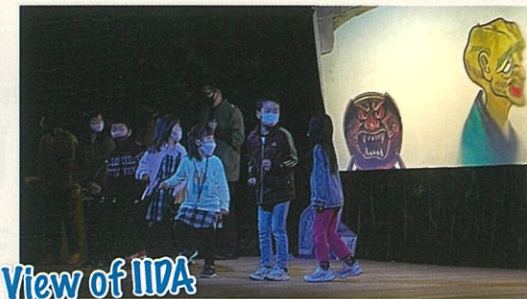
年会費

賛助会員 1口 2,000円

※正会員も募集しています5,000円
(企画提案、総会での議決権あり)

問合せ/いいだ人形劇センター
☎050-3583-3594

Dogushi



View of IIDA

いいだ人形劇フェスタの特別公演が3月12日飯田文化会館ホールで行われ、約800人が来場。劇団影法師「妖怪影絵劇 ゲゲゲの鬼太郎」を観劇しました。大規模な会場での公演は久しぶりとあり、会場はお客さんの熱気に包まれました。終演後に行われた効果音のワークショップでは、元気のよい子どもたち7人が劇団員と一緒に寸劇「恐怖の骨董屋」を披露し、楽しい時間を過ごしました。同フェスタ実行委員会は今夏4年ぶりの通常開催を8月3日から6日に計画しています。

第21回 AVIAMA 人形劇でつながる世界の都市

パラウ ソリタ イ プレガマンズ (スペイン)

パラウ ソリタ イ プレガマンズは、スペイン北東部のカタロニア自治州バルセロナに近い、人口約15,000人の町です。カタロニアには巨人人形の伝統があり、お祭りのときには悪魔や農婦といった巨人人形がパレードします。一般的に、それぞれの町にはその町特有の巨人がいます。

2022年11月にカタロニアで有名な人形劇アーティストの Teia MonerがMIT(カタロニア国際人形劇博物館)をオープンしました。博物館ではTeia Monerが世界中から収集した18世紀から21世紀までの人形800体のうち、約150体が展示されています。国による人形の形や遣い方、キャラクターの違いがよくわかるように、様式や技術によって分けられています。毎月第1週と第3週の週末のみ見学することができます。またMITは今年の「世界人形劇の日」(3月21日)に開かれたUNIMAカタロニアの式典会場にも選ばれました。



人形劇アーティストのTeia Moner

並木 さんぽ

春は新しいことを始めたい季節ですね。いいだ人形劇センターは毎年さまざまな人形劇講座を開催しています。今年是一日で人形をつくる短期講座を計画しました。さらにみなさんのお近くにおじゃます出張講座も始めています。気軽にご参加ください。次号は2023年7月発行予定です。(帆)

表紙画:井原千代子

見よう、学ぼう、楽しもう♪

人形劇のまち飯田 2023年度イベントカレンダー

人形劇公演、人形劇講座、人形美術館情報、季刊誌の発行など、2023年度も人形劇のまち飯田ではさまざまなプログラムが計画されています。予定に入れてご参加ください。

8月 7月 6月 5月 4月

- 黒田 人形浄瑠璃奉納公演
4月9日(日) 13時
下黒田諏訪神社春季例祭「無料」
外題／寿式三番叟ほか
人形の構造説明・操作体験・舞台見学などあり
- 人形劇定期公演
4月16日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場
出演／竹田人形座竹の子会
- 季刊情報誌「Dogushi」春号発行
4月中旬
- 人形劇inぼおの日曜日
4月23日(日) りんご並木
出演／わたちゃんのドコイシヨ劇場
- 川本人形美術館 企画展
「友永昭三のテレビ人形の世界」
4月29日(祝・土)～7月9日(日)
川本人形美術館3Fスタジオ
人形美術を担当したNHK人形劇「プリンプリン物語」の主要キャラクターが大集合
会期中トークショーあり
- 人形劇講座初級コース
世界の民話を全15回で製作して成果発表
期間／5月16日(火)～10月29日(日)
- 人形劇定期公演
5月20日(土) 19時開演 飯田人形劇場
出演／ショウブス 人形劇DALA
- 季刊情報誌「Dogushi」表紙原画展
5月23日(火)まで
川本人形美術館2F交流ゾーン「無料」
5月末～6月末
飯田信用金庫本店ギャラリー「無料」
- 人形劇短期講座
5月28日(日) 10時～15時30分 飯田文化会館
バクバク人形をつくるっ
- 人形劇短期講座
6月4日(日) 10時～15時30分 飯田文化会館
ハンドパペットをつくるっ
- 人形劇の相談所
6月6日(火)・13日(火)・20日(火)
人形劇製作に取り組む方のためによる
相談所「無料」
- 森のかみしばい劇場
7月2日(日) かざし子どもの森公園
飯田下伊那の紙芝居読み聞かせグループによる
ジョイント公演
- いいた人形劇フェスタ「プレフェスタ」
7月中旬 飯田市内各所
- 季刊情報誌「Dogushi」夏号発行
7月下旬
- いいた人形劇フェスタ2023
8月3日(木)～6日(日)
いいた人形劇センター企画
シンポジウム
「人形劇によるひとづくり・まちづくりを考える
―各地のアマチュア人形劇団の活動から―」
- 川本人形美術館「こども写生大会」
8月9日(水) 川本人形美術館3Fギャラリー
9月に入賞作品表彰式 参加作品すべてを
美術館内に展示「無料」
- 川本人形美術館 川本喜八郎追悼企画
8月20日(日) 川本人形美術館2F映像ホール
長編人形アニメーション「死者の書」上映
「無料」



©桜映画社 / 川本プロダクション

©友永昭三

3月 2月 2024年1月 12月 11月 10月 9月

- 人形劇定期公演
9月10日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場
市民劇団の連続公演
- ダンボールしまいワークショップ
10月8日(日)・14日(土)・15日(日)
川本人形美術館・トランス前
獅子を舞う男・後藤渉さんを講師にダンボールで
獅子頭をつくり、舞を練習
◎頭づくり 8日(日)・14日(土)
◎舞の練習 発表 15日(日)
- 今田 人形奉納公演
10月中旬 今田人形の館
- 人形劇定期公演
10月22日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場
市民劇団の連続公演
- 季刊情報誌「Dogushi」秋号発行
10月下旬
- 人形劇in丘のまちフェスティバル
11月3日(祝・金) 川本人形美術館
出演／ナルカワールド 電動糸ノコギリ
「糸鋸寿司」
- 人形劇短期講座
11月中旬 飯田文化会館
張り子でお面をつくるっ(全4回)
- 森のぼかぼかクリスマス
12月3日(日) かざし子どもの森公園
人形劇公演、クリスマスリースづくりなどが
楽しめるファミリー向け企画
出演／人形劇団京芸「ぼりりしあたー」
- 人形劇定期公演
12月17日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場
市民劇団の連続公演
- ましゅ&Keeのクリスマス会
12月23日(土)・24日(日) 飯田人形劇場
ましゅ&Keeがゲストとともに繰り広げる
スペシャル企画。オトナ向け、ファミリー向けの
2プログラム
- 初春を寿ぐ竹田人形館
1月6日(土) 竹田人形館
出演／かわせみ座
- 人形劇定期公演
1月21日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場
市民劇団の連続公演
- 人形劇短期講座
1月下旬 川本人形美術館2F映像ホール
話し方の基礎講座(全2回)
- 季刊情報誌「Dogushi」冬号発行
1月下旬
- 川本人形美術館第30回常設展示
2月3日(土)～12月予定
川本美術館3Fギャラリー
- いいた人形劇まつり「りんごっこ劇場」
2月中旬
市民劇団が企画・運営する人形劇まつり
- 保育士人形劇研修会
2月中旬
飯田市公立保育園の保育士による上演
- 人形劇定期公演
3月17日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場
市民劇団の連続公演

居場所 ほっこり

開所日:火曜、第1・3木曜、第2・4土曜
時 間:14時～17時
料 金:一人1回100円



上段左が筆者



大好きな街! 飯田

パネルシアターらびか☆ 佐々木美香

私たちにとっての長野「飯田」は、毎年お楽しみの夏旅行!! 足を運ぶ回数が増えるたびグッと近くに感じています。飯田を知るきっかけとなったのは、埼玉から長野へ嫁いだ友達より、こんな素敵なフェスタがあるよ! と教えてもらい、まずは人形劇やパネルシアターを見に「いいだ人形劇フェスタ」へ行きました。街全体で人形劇を盛り上げていること、たくさんのお祭りがあり、足を運べばどこにでも楽しい空気が流れていること、「わいわいパレード」に参加すると、あつという間にお友達があふれること: : と、こんな世界があったのか!! と驚き、なにより町全体をあげての取り組みに感動しました。

すっかり虜になり、次の年には参加劇団として演じることに!! さらに魅力に取りつかれた場所、飯田市にある「かざこし子どもの森公園」には、広い遊び場、大きな遊具、ヤギさんとのふれあいあり! ピザ作り体験もでき、イベントもたくさん! 人形劇フェスタの会場にももつてこい! 公園の魅力も手伝って、私たちは「かざこし子どもの森公園」で毎年パネルシアター公演をしています。子どもたちのキラキラ笑顔、ニコニコ笑う瞳にパワーをたくさんもらい、私たちもたくさん笑顔をお届けできますよう、これからも埼玉から通い続けます!!

次号は「はねるんるん」の松橋富美子さんです

第30回 飯田へ通ず すべての道は



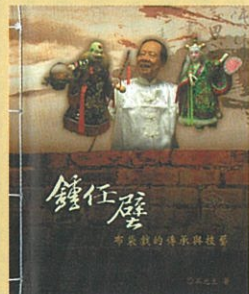
「かざこし子どもの森公園」で行ったパネルシアター講座の様子(2020年2月)。いいだ人形劇フェスタの時以外にもおじゃましています

Library Cafe 飯田とつながる世界の人形劇図書資料から④

鐘任壁—布袋戲的傳承與技藝

鐘任壁師は2021年9月に90歳で亡くなりました。1980年以降、日本各地で上演し、飯田でもコロナ禍前の2018年まで頻りに上演している。鐘任壁師には「布袋戲技芸保存計画報告書」という800頁近い大冊もあるが、この本は歴史、人々、公演記録、人形、台本、金光戯、幅ひろく網羅された布袋戲傳承という副題のとおりの内容の集大成である。もちろん台湾語によるのだが、何より見かけによらずビジュアルな体裁で、的確かつ効果的に写真が多用され、写真と漢字を拾いながら興味深く頁を繰ることが出来る、とても丁寧な造りのまずは布袋戲の記録資料としても一級の本だといえるだろう。

(人形劇の図書館館長・湯見英明)



石光生 文建會文化資產總管理籌備處 (2009年/330頁)

参加者募集!

2023年度 人形劇講座

人形美術、操演、演出などプロの指導が受けられます
会場は飯田文化会館・飯田人形劇場です

※参加費には基本の材料費が含まれますが、
製作内容により別途材料費等を徴収する
場合もございます



初級コース 申込締切 5月9日(火)

世界の民話を題材に、人形づくりから上演までを全15回で体験します。

期間 5月16日(火)オリエンテーション
講座の日時は参加者の都合にあわせて計画します
最終講座の成果発表は10月22日(日)を予定

対象 人形劇が初めての方、人形劇の経験が少ない方
講師 吉澤亜由美、関島路乃、くすのき燕
参加費 月1,000円
最少催行人数 2人



サポートコース 随時募集中

新作づくり、既存作品のブラッシュアップを支援します。

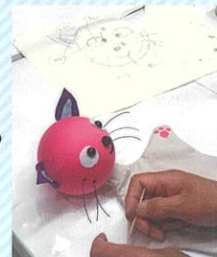
期間 参加劇団の希望で実施
回数・時間帯は各グループの都合、
製作内容により変わります
対象 飯田市で創作活動が可能なグループ
または個人、数組
参加費 一人1回500円

短期講座 申込締切 5月23日(火)

人形劇の技術を習得するためのさまざまな講座を行います。

期間 パクパク人形
5月28日(日)
ハンドバペット
6月4日(日)
時間はいずれも
10:00~15:30

対象 人形製作に興味のある方
講師 吉澤亜由美
参加費 2,000円
最少催行人数 いずれも2人



※今後の予定
11月「張り子でお面をつくらう」
1月「話し方の基礎講座」

ユースクラブ 随時募集中

中学生から大学生のための人形劇クラブ。人形劇をつくって上演することを目標としますが、いろいろなことにチャレンジします。中学校の人形劇部出身の新高校生、大歓迎!

期間 通年(週1回程度)
対象 中学生、高校生、大学生
参加費 月500円

みなさんのところへ出かけます!

2022年度から長野県内各地へ出かける人形づくりの出張講座を始めました。人形美術家・吉澤亜由美さんを講師に、専門的な技術を学べるものから気軽に人形づくりを体験できるものまで各種プログラムを用意して、人形劇の楽しさを少しずつ広げていきます。図書館や公民館などのお楽しみ会、各団体の催し等で計画したいという方は気軽にお声掛けください。

お問合せ・申込み NPO法人いいだ人形劇センター ☎050-3583-3594

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

Dogushi 表紙原画展

観覧無料 5月23日(火)まで開催中

平成25年5月に創刊してから今春で通巻41号となる、「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌『Dogushi-胴串』の表紙原画展が飯田市川本喜八郎人形美術館2F交流ゾーンで開催されています。飯田市の会社員・井原千代子さんがこれまでに描いた作品41点の中から、20点ほどを厳選して展示。『Dogushi』のバックナンバーの閲覧ができ、無料配布もしています。ぜひお出かけください。



『Dogushi』表紙原画展

開催期間:5月23日(火)まで

場 所:飯田市川本喜八郎人形美術館2F交流ゾーン

開館時間:9時30分～18時30分(入館は18時まで)

休 館 日:水曜(5月3日は開館)

※3Fのギャラリーへご覧になるには入館料が必要です

絵本原作の演目は人気が高いです。原作そっくりな人形たちが舞台狭くと動くとき盛り上がりがあります!



人形たちはすべて自作です。自分に似せた人形と並んでパチリ

は、別の作品での反省にもつながったり。演技、表現、美術、毎年様々な挑戦を続けていると、違う方向を目指しているようで実は少しずつ「上」へ向かっているような。きりのない螺旋階段をぐるぐるとして上り続けているような気がしています。
そしてこんな私に手を貸してくれるありがたい仲間たちに心から感謝し、日々出会う子どもたちとともに笑顔のひとときを過ごすために。今日もまたいろんな人形たちを満載した車を運転しつつ、心の中は新しい作品の創作に翔んでいきます。ふわあ。

ダコタのIIDA日記

Journal de Dakota



車人形とクレープ屋

ダコタ・ミドウ 2022年5月に仏シャルルヴィル・メジュールから飯田へ。飯田文化会館で通訳や翻訳、海外とのやりとりを担当。飯田での生活の中で見たこと、感じたこと、人との出会いなどを綴ります。

こんにちは皆さん!

今回の日記は1月の経験から始まります。1月7日は初春を寿ぐ竹田人形館公演でした。この機会に初めて車人形を見ました。ろくろ車を使って一人で重くて大きな浄瑠璃人形を操るようになるのは凄くと思いました。人形遣いの足は人形の足、右手は人形の右手、左手は人形の左手と頭を操ります。本当に素晴らしい技術です!

2月はバレンタインの月ですから、どこでもバレンタインの特別な商品を見るようになりました。飯田市中心を歩きながらカーフクレープカフェのバレンタインメニューを見て「わー!おいしそう!」だと思いました。日本では時々原宿でクレープを食べましたが、下まで中身がなくてそんなに美味しくなかったです。でもカーフクレープ

ープカフェのクレープの味は日本で珍しくフランスっぽい味でした。中身も多かったから凄くおいしかったです。カーフクレープカフェはとてもおすすめです!



生チョコクレープと生チョコドリンク

全人協通信 専門人形劇団事情¹⁴

地域劇団のつづやき

人形劇団あつけらん♪
ゴマモトダイ

一般社団法人 全国専門人形劇団協議会(全人協)
人形劇の普及と芸術性の向上をはかり、人形劇表現への理解と支持を広げることをめざし、1997年に発足。44劇団が加盟しています。

日本福祉大学で児童文化研究会に所属していた私は、保育課程の授業で丹下進さんと出会い、人生が大きく大きく変わっていききました。丹下さんの「人形劇団ちんどん」で10年の修行を経て小さな劇団を立ち上げ、早15年ほど過ぎました。乳児さん向けから小学生向けまで、様々な作品は今も増え続け、今年は16本目の仕込みです。
すべての作品が常時上演可能で、演目は毎日日替わり。短い作品と長い作品の組み合わせも、日替わり。目まぐるしい積み替えの毎日ですが、15年かけて1作品ずつ気持ちを込めて生み出してきたものばかりなのでどれも大切な「我が子」たちです。それで作品の質は上がっていくのかしら、と問われるかもしれませんが、ある作品での気づきが別の作品に生かされ、またある時の失敗